

## 平成30年度 第2回よっちゃんばれ放談会 要旨

日 時	平成30年10月4日（木）午後1時30分～午後3時30分
会 場	甲府市役所 4階本部長会議室
参 加 者	各種団体代表者（6名） 公募（1名）
市出席者	市長、副市長、産業部長、市長室室長、国際交流都市担当課長、企画課長、産業総室長、観光商工室長、農林振興室長、産業立地課長、雇用創生課長、観光課長、市民協働室長、協働推進課長
次 第	1 開会 2 市長あいさつ 3 参加者自己紹介 4 意見交換 5 まとめ 6 閉会
意見交換	
観光商工室長	<p>本日の「よっちゃんばれ放談会」は、今年度の2回目として、本市の産業に関係が深い各団体や機関及び公募により参加いただいています合計7名の皆さんにご参加いただき、「世界に誇れる甲府の産業」をテーマに、樋口市長と意見交換していただく機会として開催いたします。</p> <p>はじめに、本日出席いただいている皆様から自己紹介をお願いします。ご自身の会社や所属についてなどの自己紹介をお願いします。</p> <p>それでは、参加者 A さんをお願いします。</p>
参加者 A	<p>貴金属宝石の卸を行っておりますが、昨今、日本だけでなくグローバル化が進むなかで、世界の色々な国々に日本・山梨の製品を広めようと、みんな頑張っております。</p>
観光商工室長	<p>続きまして、参加者 B さんをお願いします。</p>
参加者 B	<p>業界としまして甲府印伝商工業協同組合を地元4社で作っております。非常に小さい協会、産業ではありますが、他県にはない産業ということで、その特色を如何に発揮できるかということを我々も常々考えております。</p>
観光商工室長	<p>続きまして、参加者 C さんをお願いします。</p>

参加者 C	甲府市の農業、まだまだ捨てたものではありません。ブドウ、とうもろこし、なすなどを販売しております、東京あるいは関西圏で大変評価をいただいているところであります。皆さん方と共に、甲府市の活性化のために頑張っていきたいと考えております。
観光商工室長	続きまして、参加者 D さんお願いします。
参加者 D	私どもの本業は、貸衣裳業を展開しております。3年前から海外のお客様に向けた着物体験サービスを展開したいと思ひまして、一年半前に甲府と河口湖を拠点に、海外のお客様に向けた体験サービスをスタートしました。まだまだ山梨では着物というものが、なかなか結びつきませんが、富士山などが強みになっておりまして、日々頑張っております。今日は皆さんの意見をいただきながら、今後の展開に貢献できればと思っております。
観光商工室長	続きまして、参加者 E さんお願いします。
参加者 E	私自身は、甲府に来まして3ヶ月になります。カンボジアのプノンペンに4年駐在し、日本に戻ってまいりました。 皆さんはベテランだと思いますが、私の場合は新しい目で甲府の魅力についてお話ができたかと考えています。仕事内容につきましては、甲府市のみではないですが、県内の中堅中小企業さまの海外展開支援ということで、業種を問わず輸出だけではなく海外に拠点を作るとか、逆に海外の企業をこちらに呼んで商談を行ってもらうなどの支援を行っております。
観光商工室長	続きまして、参加者 F さんお願いします。
参加者 F	本日は甲府ブランドの代表として参加させていただいております。5年位前にオリオンイーストにショップをかまえさせていただき、甲府市より甲府ブランドとしてジュエリーを認定していただきました。家業は、祖父の代から始まりまして、当時は美術工芸品をつくっていましたが、時代とともに甲府市の産地であるジュエリーに創る物を変えてきました。今は海外のアフリカザンビアに行きまして、技術支援も行っています。
観光商工室長	続きまして、参加者 G さんお願いします。
参加者 G	出身は中国四川省成都市です。25年前、山梨大学に留学し、その後、民間会社に勤務し、通訳・貿易を担当させていただきました。出産のため退職し、2011年から通訳と旅行サポートとして開始し、3年前から中小企

<p>観光商工室長</p>	<p>業などが海外進出するためのサポートを行っています。</p> <p>それでは意見交換に入ります。今回のテーマ「世界に誇れる甲府の産業」として、4つの視点から、それぞれ3名から4名の皆さんにご意見をいただき、それに対するコメントを樋口市長からいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>まず始めに、「海外に誇れる甲府の逸品または魅力について」参加者 A さんをお願いします。</p>
<p>参加者 A</p>	<p>私達の業界には、研磨などに代表される伝統的な技術がありますが、つい先日、やまなし産業支援機構や甲府市のご支援をいただき、タイで開催されたバンコク宝石・宝飾品フェアに出展しました。その中で、世界各国の方々にジュエリー製品はもちろんのこと、研磨技術に関して高い評価をいただいたことは、私達の組合にとっても励みになりました。</p> <p>宝飾業界といえば華やかなイメージがありますが、業界を支えているのは日々努力を重ねている研磨職人の方々であり、その方々をいかに支援していくかが大切であると思います。</p> <p>甲府のジュエリー産業は、日本はもちろんのこと世界に通じる産業だと思いますし、日本人の持つ繊細さが活かされていると思います。また、山梨には、豊かな環境があることやブドウ、ワインなどに代表される素晴らしい素材がたくさんありますので、様々な業界と連携し、情報発信をしていきたいと思っています。</p> <p>また、現在、県立宝石美術専門学校で技術の伝承講座などを行い、後継者の育成を行っていますが、行政でも後継者育成のための制度を確立していただきたいと思っています。</p>
<p>観光商工室長</p>	<p>続きまして、参加者 C さんをお願いします。</p>
<p>参加者 C</p>	<p>私からは、ブドウとワインについてお話をさせていただきます。</p> <p>皆さんもご承知かと思いますが、山梨県は果樹王国であり、桃、スモモ、ブドウなどの生産量は日本一であります。ブドウにつきましては、甲府ではデラウエア、巨峰、ピオーネ、甲州、シャインマスカットなど様々な品種が栽培されていますが、その中でも特に、シャインマスカットは平成 28 年に甲府市から甲府ブランドとして認定していただいたこともあり、脚光を浴びています。甲府のシャインマスカットの露地栽培生産量は日本一であり、一番早く市場に出荷されます。</p> <p>シャインマスカットは、粒が大きくて香りがよく、皮ごと食べられることが魅力ですし、小雨で昼夜の気温差がある甲府盆地の気候に適した品種</p>

	<p>であります。このような理由から、国内はもとより、東南アジアを中心とした海外にも多く輸出されています。</p> <p>ブドウの栽培における品種改良の技術は日本が世界に誇れるものだと思いますし、例えば笛吹市はJAふえふきと甲州市、山梨市はJAフルーツ山梨とそれぞれ連携して、市長さんが海外へトップセールスを行っていますので、甲府の特産であるシャインマスカットにつきましても、市長さんが海外でトップセールスを行うことによって、甲府の魅力を発信できると思います。</p> <p>それと、ワインにつきましても甲府が発祥の地でありまして、市内にもワイナリーがあります。</p> <p>私は、先日、甲府産の甲州ブドウを原料とした白のスパークリングワインを飲みましたがとても美味しかったですし、今年は、開府500年に向けてマスカット・ベリーA、アリカントを原材料とした赤のスパークリングワインが製造されると伺っておりますので、とても楽しみにしています。</p> <p>現在、農業分野では、農作業をする方の高齢化や担い手不足が懸念されていますが、ワインの原料となる醸造用のブドウは生食用のブドウに比べて栽培に手間がかかりませんので、これらの問題の解消に繋がりますし、特に白ワインにつきましても、先日、甲州ワインが国際ワインコンクールで金賞を受賞しました。先ほども話しましたが、甲府はワインの発祥の地でありますので、その点からも甲府の魅力を世界に発信できると思います。</p>
観光商工室長	<p>続きまして、参加者Gさんお願いします。</p>
参加者G	<p>私が甲府に住んでから24年が経ちますが、甲府の逸品と言えば、フルーツ、印伝、ジュエリーが挙げられます。</p> <p>私は、中国や台湾、香港のお客様を案内することが多いのですが、シャインマスカットに代表されるフルーツは評判がよく、たくさん買っていかれますので、これらの甲府の魅力をもっと海外に宣伝すれば、経済効果も上がると思います。</p> <p>私にとって、山梨は故郷であると思っていますので、山梨や甲府の発展のために、海外にできる限り宣伝していますが、行政でも甲府の魅力を海外に宣伝していただきたいと思っています。</p> <p>また、先ほども話しましたが、甲府はフルーツ、印伝、ジュエリーなどの資源が豊かですので、企業の方はその資源を活用して、もっと海外に進出したらよいのではないかと思います。その際には、現地の方々と連携しながらニーズを把握することが大切だと思います。</p>
観光商工室長	<p>ありがとうございました。それでは、これまでの話の中で、樋口市長、</p>

<p>市長</p>	<p>お願いします。</p> <p>貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>参加者 A さんから、ジュエリーは、世界に通じる産業であり、今後も情報発信をしていきたいというお話を伺いましたが、行政と宝飾業界の方々がスケールメリットをつくり、やまなし産業支援機構さんやジェトロさんと連携しながら支援を行っていききたいと思います。</p> <p>現在、甲府富士屋ホテルを主会場として、全国史跡整備市町村協議会大会が開催されておりまして、全国の市町村長さんや教育委員会の職員の皆さんが大勢来ていますが、多くの方が山梨県に全国唯一の公立の宝石美術専門学校があるということを知っていましたが、生徒はあまり多くない現状がありますので、県と連携しながら、専門学校で多くの方が学び、巣立った後には講師として、宝飾業界を志す方々に技術を継承していただけるよう支援していききたいと思います。</p> <p>また、本市では、小江戸甲府の夏祭りやこうふ開府 500 年記念事業など年間を通じて楽しめる取組を行っておりますので、その際に甲府の逸品や甲府の証などをアピールできる機会を創出していききたいと思いますので、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>参加者 C さんからお話いただいた、甲府産の白のスパークリングワインは大変好評でして、先ほど話した全国史跡整備市町村協議会大会の懇親会の席でも振舞わせていただきました。</p> <p>甲府にワイナリーは 4 か所しかなく、ブドウの生産量は峡東地域に比べると少ないですが、武田神社で採取した酵母を使って、ワインを醸造するというストーリー性あふれる赤と白のスパークリングワインを JA 甲府市さんや山梨大学さんのお力を借りて作っておりますので、できる限りアピールしていききたいと思います。</p> <p>峡東地域には多くのワイナリーがあり、質、量ともに日本一ですがワインを飲める場所は、甲府にもたくさんありますので、そういったところをしっかりとアピールしながら街のにぎわいに繋げていききたいと思います。</p> <p>また、先ほどから果物の話が出ていますが、甲府の野菜につきましても非常に美味しいといった評価を県外から来られた方々から聞いております。JA 甲府市は、来年合併により JA 山梨みらいになると伺っておりますので、今後は甲府だけではなく、甲府盆地や山梨県産の地の物とワインとセットにしながらアピールしていききたいと思いますので、ご意見をいただきたいと思います。</p> <p>シャインマスカットですが私達甲府市民も大好きですし、先日、山梨県で赤いシャインマスカットを開発したという記事が新聞に載っていましたが、実用化に向けて、非常に可能性が高い話だと思っておりますので、今後の展</p>
-----------	---

<p>観光商工室長</p>	<p>開に期待しております。</p> <p>私は、生のフルーツも好きですが干し柿などのドライフルーツも大好きです。フルーツには季節がありますが、6次産業化したお菓子などは一年を通して販売できると思いますので、今後もアピールしていきたいと思います。本市には有名な飴の製造会社がありまして、開府500年に関連した飴も作っていただきましたが、このように甲府で作られたということを発信していけば、甲府の活性化に繋がると思います。</p> <p>参加者Gさんは、東南アジアや東アジアを行き来していると伺っておりますので、現地のトレンドなどをお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>続きまして2つ目、「甲府の産業の強いところ」につきまして、3名の方よりご意見を伺います。はじめに、参加者Bさんをお願いします。</p>
<p>参加者B</p>	<p>「甲府の産業の強いところ」についてですが、その前に産業が強くなるためには、それぞれの産業自体に魅力があってこそ、全体として甲府の魅力になっていくのではないかと感じております。私どもの協会では、新製品の開発やコラボを行ったり、その他色々な事を行っておりますが、今、力を入れているのが、後継者の育成であります。</p> <p>これは昨年、経済産業省の外郭団体であります伝統的工芸品産業振興協会で行っている事業の中で、久しぶりに伝統工芸士という称号を業界の職人さん6名の方が取得しました。彼らは、これから後を継いでいく若手職人の憧れでもありますし、逆にその立場になることによって、より自分が頑張らなくてはいけないということで、いい刺激になっております。もう一つは、世の中の動きが非常に早く、個人消費が厳しい中で、つくったものをどうやって販売していくかが大きな課題であり、SNSなどの情報発信、デジタルマーケティングをしっかりと勉強してやっていきたいと思っております。</p> <p>「甲府の産業の強いところ」についてですが、まず経済の中心である東京に近いということが大きなメリットであると思います。外に商売を持っていける業種と、そうでない業種があると思いますが、例えば印傳の場合は、外に店を出すことが可能であり、近ければ情報もより入りやすいということもあります。特に観光業などは、東京に近いということでメリットがあると感じています。また、企業についても、空気、水がおいしく環境がよく住みやすい山梨への誘致についても、東京に近いことが大きなメリットになるのではないかと感じております。</p> <p>我々も甲府の産業の一端を担っているわけですから、やるべきことをやって、少しでも甲府がよくなるように努めていきたいと思っております。</p>

観光商工室長	<p>続きまして、参加者 D さんお願いします。</p>
参加者 D	<p>私たちは、観光客に着物体験を行っていますが、着物体験だけでなく撮影スポットが重要になっています。現在、甲府の拠点と河口湖の拠点2カ所で行っていますが、当初のビジネスモデルは、京都、浅草をモデルに考えていました。しかし、撮影スポットの問題がありましたので、お客様にリサーチしたり、ガイドさんに話を聞いたところ、最大の強みは富士山でした。富士山は甲府周辺でも見ることができますし、富士山と桜は、絶対的な強みになります。京都、浅草に勝てるだけの資源があるということに気づきまして、撮影スポットを魅力あるものにしようということと、日本の着物文化をおしつけない手法をとりました。</p> <p>甲府の魅力は、海外の方には、まだまだ伝わっていないと思います。海外の方に甲府を見ていただいて情報を収集し、そこから情報を発信していく方法もあるのではないかと思います。</p> <p>インバウンドとして重要なことは、日本人の目線ではなく、海外の人に対して考えていくことであると感じます。海外の方の話を聞くと、私たちの持っている強みを最大に生かすような手法でないインバウンドのお客様は引っ張ってこれないと感じました。</p> <p>やはり SNS は、非常に重要です。甲府の舞鶴城公園や昇仙峡などの写真を定期的にアップしていくことで口コミなどにより広がり、甲府をアピールできるのではないかと思います。</p> <p>また、観光業で一番重要なことは連携であり、私もこれまで観光業の方々から色々なアドバイスをいただき、協力体制が非常に強かったです。こういった連携が観光には必要であると思います。甲府市においても各種グループ、各種団体との協力体制を築いていくことが重要でありますし、皆さんの意見を聞くことによって、より甲府の魅力を伝えることができると思います。</p>
観光商工室長	<p>続きまして、参加者 E さんお願いします。</p>
参加者 E	<p>私は、山梨に来て3ヶ月になりますが、山梨への異動と聞いたときに、どんなところで何があるのだろうと考えました。</p> <p>例えば、ワインと言えば勝沼、甲州市。ブドウ、フルーツと言えば笛吹市。甲府には何があって何がないのか考えたのですが、ここに来て色々なものを見聞きするに、甲府では全てのものがあるのではないかとということに気づいてきました。甲府にはワイナリーもありますし、ブドウなどのフルーツも作られています。</p> <p>事務所の周辺は、稲作地で田んぼも多くあり、甲府でも農業が盛んであ</p>

	<p>ることに気づきました。また、工業団地も多々ありまして、工業系の企業もそろっています。</p> <p>甲府では、将来リニアモーターカーの駅も出来ますし、色々な産業が集積していますので、一つ一つの産業のみならず、例えば農業と観光を組み合わせた農業観光ですとか、違った産業の組み合わせによりまったく新しいものが作れるのではないかと可能性を甲府に来て感じました。</p> <p>また、食につきましても有名なお店もたくさんありますし、友人の話でも県外からバスや電車で来て数日間滞在しお店をまわるなど、ツアーを趣味にしている方もいまして、こういった切り口から、観光地とサービス産業の組み合わせにより、新しい切り口で何か甲府の産業を提案できるのではないかと感じました。</p>
観光商工室長	<p>ありがとうございました。それでは、これまでの話の中で、樋口市長をお願いします。</p>
市長	<p>参加者Bさんは、世界的なブランドとコラボされており、本市の代表的な地場産品だと思います。また、地の利を生かしていくためには、リニアの開通を見据えて準備を行っていかねばいけないと思います。</p> <p>ふるさと回帰支援センターが、移住希望地域ランキングを公開しておりますが、山梨県と長野県が1位を競っています。理由としては首都圏に近く自然環境が豊かであり、生活インフラである医療、教育などさまざまな面で不便を感じないことが一番であることから、これらを最大限に活かし追求していくことが必要であると思っています。</p> <p>また、将来はリニア中央新幹線が開業し、交通インフラが整備されていくことで、産業の発展、世界の活力を呼び込む要因となることから、今後皆さんと議論し準備を進めていきたいと考えております。</p> <p>SNSにつきましては、善光寺から見る富士山の風景や昇仙峡、また、こうふ開府500年記念事業で「私の1枚」ということで写真の募集もさせていただきましたので、これらも発信していければと思っています。</p> <p>今後も色々なアドバイスをいただければありがたいと思います。</p> <p>参加者Dさんのお話ですけれども、湯村の温泉街の皆さんも、外国人の観光客の方々に浴衣や着物を着るサービスを提供するお話も伺いましたので、このような事がもっと広がっていければと思っています。</p> <p>そして、観光業は連携が大事であるというお話をいただきましたけれど、横の繋がりを持つことで全てを底上げすることができ、皆さんの色々な意見を聞きながら協力体制を整え、より甲府の魅力を伝えていければと思います。貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>開府500年でありますし、今後中核市として、また県庁所在地として</p>



<p>観光商工室長</p>	<p>の役割をしっかりと果たしていきたいと思っております。さらに、各市町村間においても連携を図りながら、人口減少、産業振興、観光などにつきましても取り組んでまいりたいと思います。</p> <p>続きまして3つ目、「甲府の産業が海外展開・進出するために必要なこと」につきまして、4名の方よりご意見を伺います。はじめに、参加者Fさんをお願いします。</p>
<p>参加者F</p>	<p>海外に進出していくためには、海外の情報を取り入れていくことが重要であると思います。例えば、東京を拠点に国際的な展示会に出展するなどして海外の人達と交流を深め、進出する相手国の風習や文化を学び、どのような狙いで海外進出をしていくのか考えていく必要があると思います。</p> <p>私が海外転換に向けて力を入れていることは、アフリカのザンビアの皆さんに私の技術を教えることで支援ができたらということで、研磨の技術を教えています。支援するだけではなくて、こちら側のメリットとして、ザンビアでは水晶が豊富に採れる産地であることから、原石を購入することでサイクルが発生し、相乗効果で産業として発展していくものと思います。また、今後も我々を通して甲府の研磨技術を発信していけたらと思っております。</p>
<p>観光商工室長</p>	<p>続きまして、参加者Bさんをお願いします。</p>
<p>参加者B</p>	<p>私どもは、5年前からニューヨークで展示会に出展し営業活動を行っております。文化や言葉も違うことから、日本で商売するほど簡単ではなく印傳といっても誰も知らないですから、すべてを映像やビジュアルで分かるようなものを用意しながら、粘り強く年2回の展示会を開催しております。9月に3日間秋の展示会を開催しましたが、大勢のバイヤーも来ていただき、以前より進歩した感じを受けました。</p> <p>海外における商売は簡単ではありませんが、大事なことは、海外にどのように評価されるのかしっかりと調査し、それに合うような企業の製品であったり、企業の姿勢であったりと色々なことを揃えないと評価されないという面があるのではないかと感じております。</p> <p>海外の展示会では、コストがかかっても自ら行って、現地の方々が何を求められているのかしっかりと把握し、それに対してどのようなことができるのかできないのか、自分で判断することが大事ではないかと思います。</p> <p>展示会を開催し、その時は良かったけれどその後のフォローをどうするのかということがありますが、私どもの現地法人はまだありませんが、現地の企業と業務委託契約を交わしまして、商品の販売から回収まで営業業</p>

<p>観光商工室長</p>	<p>務を行っていただいております。このことから展示会に来てくれたお客様についても安心して購入できる体制をとっております。</p> <p>もう一つ、これは海外ではありませんが、昨年からタックスフリーのシステムを導入しまして、残念ながら甲府本店での利用はまだ少ないですが、大阪心齋橋店や青山店は毎日のように海外の方の売り上げがある状況です。そういう意味でこれからは、海外市場を攻めるのはもちろんですが、インバウンドの対応についても無視できない状況になってきたと改めて感じております。</p>
<p>参加者 D</p>	<p>続きます、参加者 D さんお願いします。</p> <p>私は現在、着物体験サービスをさせていただいております。アフリカ、アメリカ、ヨーロッパなど世界各国の方がいらっしゃいますので、情報はここで集めることができました。</p> <p>例えば、どこの国の人が多くて、どんな着物の色が好きなのかなどの情報を集め、これをベースに色々なことを考えることができました。</p> <p>私どもの会社では香港のお客様のニーズが非常に多くあります。私自身、中国語がまったく話せないので、英語ですと直接コミュニケーションをとることができ、非常に重要であることに気づきました。</p> <p>海外展開を考える場合は、直接海外の方とコミュニケーションをとる手法であったり、そのような内容のものに参加することが重要であると思ひまして、私は昨年知事のトップセールスで台湾、ベトナム、インドネシアに参加させていただき、その後、旅行会社など色々な関係者と情報交換を行っています。</p> <p>甲府市にとって非常に近い関係になりやすい国、交友関係がもちやすい国があるかと思ひますので、ターゲットを絞るということも、一つの方法であると思ひます。</p> <p>また、コミュニケーションをとりやすかったり、物の考え方や志向が非常に似ているなど、何か共通点があることも大事であると思ひます。現在ベトナムは、勢いもありますし、日本に友好的な感情を抱いているので良いかと思ひます。あと、中国は日本にとって重要な相手国であると思ひます。私どもの会社でも中国のお客様は大勢おり、絶対的な人数も多いので、今後においても重要なお客様になると思ひます。</p> <p>最後に私が仕事を通じて感じたことですが、ターゲットを絞るということと、しっかりコミュニケーションをとりやすい国との関係性を重要視することが必要であると思ひます。</p>
<p>観光商工室長</p>	<p>続きます、参加者 G さんお願いします。</p>

<p>参加者 G</p>	<p>「甲府の産業が海外展開・進出するために必要なこと」ですが、業種によって違うと思いますが、積極的に展示会などに出ることが必要であり有効であると思います。</p> <p>私も東南アジアやヨーロッパに行きますが、日本という名前がブランドになっています。山梨のイメージ、甲府のイメージを創りあげ、甲府ブランドに展開していければ良いと思います。</p> <p>今、私が関わり深いのが食品製造でありまして、中国四川省では大規模な食品に関する展示会があり、その時にお会いした方ですが、山梨・甲府からの出展を期待していますと声をかけられました。今までに山梨・甲府からの出展は1件もないことから、多くの企業の出展を望んでいます。四川省成都市は友好都市でもありますし、是非参加していただければと思います。</p> <p>中国は経済の発展もスピード感があり、人々は素直で、自分の気に入ったものは、すぐ欲しがります。中国だけではなく東南アジアのミャンマー、ベトナム、カンボジアなども各国が投資し緩やかですが発展しています。こういったマーケットに、山梨・甲府のブランドとして、色々な業種を積極的に売り込んでいくことが必要であると思います。また、流通、関税などの難しい問題もありますが、事前の調査を行っていくことも重要であると思います。</p> <p>甲府の産業が海外進出するためには、甲府のブランド製品を海外で製造して輸出することも一つの考えであり、今後様々なシステムを考えていくことが必要であると思います。</p>
<p>観光商工室長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、これまでの話の中で、樋口市長お願いします。</p>
<p>市長</p>	<p>参加者 F さんのザンビアのお話ですが、原料を持ち帰りこちらで加工するということから、どのように加工し、どのようにきれいになって製品となっていくのかなど技術を発信し支援を行っていくことは非常に良いことだと思いました。</p> <p>学校間において、映像で授業風景や何を学んでいるかなどを発信し情報交換を行っていますので、そういった手法で文化の違いのある国々が産業の振興交流を行ったり、あるいは業界の人達だけでなく周辺の関係者の方々についても、情報などを交換し交流を図っていくことが必要であると思いました。</p> <p>参加者 B さんは、様々な海外展開を行っておりますので興味深くお話を伺いました。海外展開は簡単ではなく、粘り強くという言葉が印象的でし</p>

	<p>た。展示会だけでなく、その後のフォローが非常に大事であるというお話を伺いました。</p> <p>ジュエリーの街甲府がどのような形で海外進出を進めていくのが良いのか、一緒に考えさせていただければありがたいと思っております。</p> <p>参加者 D さんは、様々な取組を行っているということですが、コミュニケーションの必要さを私もひしひしと感じます。</p> <p>例えば英会話でも相手ときちんとコミュニケーションをとれることが必要だと思えますし、色々な場面で感じております。日本文化などにつきましてもそれぞれの都市が知恵を絞って海外に発信していますので、私たちも負けないよう発信していきたいと思えます。</p> <p>参加者 G さんのお話で、中国の成都市は、経済及び様々な分野で成長を遂げており、素晴らしいスピード感で成長されていることを思い出しました。これからも友好都市としてお互いのニーズに応えられるよう、さらに親交を深めていきたいと思っております。また、成都市やそのほかの友好都市、それ以外につきましても改めて交流を深めていきたいと考えております。</p>
観光商工室長	<p>最後に4つ目としまして、「これからの甲府の産業に望むこと」につきまして、4名の方よりご意見を伺います。はじめに、参加者 A さんお願いします。</p>
参加者 A	<p>甲府の産業ということで、我々はジュエリー関係ですが、いかに若者が夢をもって魅力ある産業にしていくかということが重要であると思えます。また、甲府の魅力について、環境がよく住みやすいところであり、市民の方々が甲府の魅力をもっと発信し、皆で甲府のことを誇れるようになっていただきたいと思えます。</p> <p>我々の業界で物を創るということは、自分たちの経験では褒められたことなどなく、師弟関係で職人というような形で行ってきました。今後については、新しい働き方を考えていかなければならない時代であると思えます。</p> <p>今の若い人達は社会性もあり、特に女性の力については、凄いなと思うときがあります。これらを生かすためにも、受け入れ側も若い人達のことを理解し、勉強していく必要があると思えます。また、会社のなかで英語が喋れて、海外の方ともコミュニケーションがとれることは非常に必要であると思えます。</p> <p>次の世代の人達が、明るく元気に楽しくできるようにするために、何ができるのか、我々の業界でも一生懸命考えていかなければならないと思っております。</p>

観光商工室長	<p>続きまして、参加者 C さんお願いします。</p>
参加者 C	<p>第 1 次産業である農業、山梨の生産額は今までずっと低迷しておりましたが、昨年度は、1 千億を達成することができました。その要因として、シャインマスカットの売り上げが非常に伸びております。</p> <p>甲府市の農業生産額をみますと、1 千億のうち 70 億円という産出額が出ております。そのなかで一番多いのは果樹で 32 億円、野菜が 27 億円、米が 2 億円、その他となっております。国民が生きていくうえには、食糧が第 1 であり、食糧イコール緑と水、これを生み出しているのも農業であります。安いからといって海外商品に頼るのではなく、国内産の受給率を保持していく必要があると考えております。</p> <p>県都である甲府市においては、宅地化していくことはしょうがないと思います。リニアの用地として 30 ヘクタール、また周辺整備として大変な面積を用地として提供しており、色々な面で開発が進んでおります。</p> <p>また、甲府のワインを海外に発信することは非常に大切であり、海外に負けないワインを是非発信していただきたいと樋口市長にお願いした経緯がございます。甲府盆地の中山間地である南側には、里垣地区、甲運地区の桜井町、三ツ石など、この地域においては、非常に良いブドウが収穫されていきました。近年高齢化によって、耕作放棄地が多くなってきている状況であります。</p> <p>中央市豊富の関原地区では、サントリーのワイン会社と提携し、醸造用のワインの産地として、30 ヘクタールの膨大な農地を造成しております。里垣地区、甲運地区の中山間地につきましては、国からの予算をいただける事業があります。現在、日本でも各地域において豪雨による被害も起こっているなかで、これらの事業を活用して、地域を守っていくことも必要ではないかと思えます。</p> <p>また、甲府の魅力は、市街地のすぐそばに、ブドウ園があり、山梨県のなかでも誇れる甲府市の産業の目玉になると思っております。</p> <p>ブドウの他にも、とうもろこしがあります。甲府之証ということで、皆さんも食べたことがあると思いますが、しあわせコーン、ミルフィーユ、きみひめは、シャインマスカットと同様に甲府の証としてアピールしております。</p> <p>甲府に来ていただいた方々に、おいしいものを食べて、色々なワインを飲んでいただき、甲府盆地の夜景も楽しんでいただく。甲府にとっても、凄い財産になると思えます。</p> <p>今後の甲府の産業・農業を守るためにも、農家、甲府市、農協が三位一体で取り組んでいければと思っております。</p>

観光商工室長	<p>続きまして、参加者 E さんお願いします。</p>
参加者 E	<p>私は職業柄、海外展開についての話になってしまいますが、「これからの甲府の産業に望むこと」のテーマにつきましては、国際交流的な横の繋がりの連携を全面的に出していったらどうかと考えています。</p> <p>以前、新潟に勤務していたことがあります。燕市という刃物の産地がありまして、イタリア刃物の産地と交流したいということで、ジェットロで接したことがあります。そこで取り組んだことが、イタリアのデザインしたものを燕の技術で創ったらどうかということで、いくつか試作品も創りました。</p> <p>韓国の展示会では、そういった引き合いもありまして、世界中に発信していくこともできます。輸出輸入、売った買ったではなく、デザイン、物づくりを含めた、先の長い繋がりのある国際交流を図っていけたら、更に進んでいけるのではないかと感じました。</p> <p>また、ジェットロの取り組みで SNS、フェイスブック、ツイッターなどで日本の情報を海外に発信していく事業がありますが、山梨と聞いてどんなイメージがあるか聞いたら意外な答えが返ってきて、富士山のふもとに桃の花がピンク一色に咲き誇っている写真を見たことがあって、是非見に行きたいと答えた方が多くいました。このような人達を甲府に呼んで現場を見ていただき情報発信していければ、国際交流に繋がるのではないかと思います。</p> <p>キーワードとしては、今後、繋がりということを視野に入れて、これからの甲府の産業を考えていけば良いのではないかと思います。</p>
観光商工室長	<p>最後に、参加者 F さんお願いします。</p>
参加者 F	<p>それぞれの産業が発展していくことは大事ですが、国内でも甲府でしか生産できないものもたくさんありますので、まずは、それを絶やさないように、各種産業が横の繋がりを持って情報交換を行っていく必要があると思います。また、海外を視野に入れたものづくりに繋がっていくものと思います。</p> <p>伝統工芸の分野でも、新しいものづくりを海外に出していく傾向にありまして、他の分野にも目を向けてコラボレーションを行い、時代に合ったものを創っていく必要があると思います。</p>
観光商工室長	<p>大変貴重な意見をいただきありがとうございました。最後のまとめといたしまして、樋口市長より感想をいただきたいと思います。</p>

市長	<p>本日は、貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。海外に誇れる甲府の逸品、魅力については、優れた加工技術から生み出されるジュエリー、また高い品質のブドウや桃などの果物、そのブドウから醸造されるワイン、そして長い歴史と伝統を受け継ぐ甲州印伝など、様々なものがあるというご意見をいただきました。</p> <p>また、さまざまな地域資源の特長について、あるいは課題、アピールの仕方についてもご意見をいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>甲府の地場産業が海外進出や海外展開するために必要なことについては、意思疎通のコミュニケーションやニーズ把握などのマーケティングに加え、世界に向けた積極的な魅力の発信などが重要であることが改めて分かりました。</p> <p>また、これからの甲府の産業に望むことでは、人材の育成や各種産業の振興、国際交流の促進や伝統技術の継承など、本市の産業が未来に向けて発展するために必要なことについて、貴重なご意見をいただき、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>本日いただきましたご意見や事前アンケートにお答えいただいたご意見についても、今後の産業振興に活かしていきたいと思えます。</p> <p>また、前回のよっちゃばれ放談会で、市内大学に在籍している留学生からいただいたご意見や、次回、教育関係者を招いて開催する第3回よっちゃばれ放談会でのご意見など、様々な分野からの幅広いご意見をいただく中で、国際交流都市こうふを目指し、各部門間で連携を図りながら事業を展開してまいりたいと思えますので、今後ともご指導、ご支援、ご協力いただきますことをお願い申し上げます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
----	---